

# 決 議

- ◇ プラットホームへのエレベーターの設置
- ◇ 電車とプラットホームとの段差の解消
- ◇ 快速電車の全便海田市駅停車の実現



呉線のプラットホームの現状

定例議会最終日に、JR西日本ならびに国土交通省などの関係機関に対し、海田市駅のバリアフリー化などを早急に実現するよう求める決議案を全会一致で可決しました。JR西日本は広島市東部地区連続立体交差

全会一致  
で可決

## JR西日本・関係機関への 要望決議・意見書

事業に併せて、建て替える新駅で改善する方針を示していました。しかし、完成が二〇二二年度まで七年間先延ばしされたことを受け、議会としても「新駅の完成までは待てない」として決議したものです。

### 要 旨

現在のJR海田市駅にはプラットホームへのエレベーターが設置されていない。駅外部から改札口につながる南北自由通路へのエレベーターについては、全額、町民の税金から成る町の経費による負担で設置されている状況である。



自由通路にはエレベーターがあるのに

また、プラットホームと電車との段差が著しく、特に呉線は約三十八センチメートルもの段差があるなど、非常に不便かつ危険な形状となっている。快速電車の停車については、平成十九年三月十八日から朝夕ラッシュ時に二便ずつ停車

することになったが、海田市駅利用者の利便性の向上、海田町・呉市・東広島市の連携強化による地域間交流の促進、活性化のためには、今後、山陽本線および呉線の快速電車の実便海田市駅停車の実現が必要不可欠である。